



**さいとう武次郎**  
市政報告

〒712-8046  
倉敷市福田町古新田781-8  
TEL 086-450-0555  
FAX 086-450-0556



# 教育委員会『指導主事』って何？

学校を指導する専門職として **43人の教員経験者を配置!**

**武次郎が6月議会で質問  
独自テスト実施に向けて検討へ**

**どうして? 不登校対策予算が減額**

武次郎が6月議会で、議会質問しました。  
倉敷市には、2013年4月現在、43人の指導主事が配置されています。

指導主事は、学校の教員として岡山県教育委員会に採用され、その後の人事異動等により、学校現場を離れ、行政職として勤務しています。

指導主事の役割は、法律には「学校における教育課程、学習指導、その他学校教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事する」とあります。

児童・生徒の学力低下、不登校や暴力行為などの問題行動の出現率の悪化等、課題が山積する中、学校現場における慢性的なマンパワー不足の今日、武次郎は「もっと指導主事を有効活用し、学校現場をしっかりサポートすべきでは?」と質問しました。

## 2013年度に、県内15市町が独自テストを予定

近年、全国学力・学習状況調査だけでは、児童・生徒の学力を把握することができないことが広く理解され、多くの自治体が独自テストの実施を再開しています。

倉敷市も実施に向けて、検討中であることが答弁で明らかになりました。2014年度の実施を期待しています。

- ①以前から独自テストを実施している自治体 井原市、備前市、瀬戸内市、美作市、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、吉備中央町
- ②復活して実施する自治体 総社市(3年ぶり)
- ③初めて実施する自治体 津山市、赤磐市



予算関係の現地調査を行う武次郎

6月補正予算案の中で、県は10/10県費の「小学校における不登校児童支援員配置事業」を減額しました。

岡山県における不登校出現率は、2年連続全国ワーストワンです。

その中では、34人の不登校児童支援員が就業する時間が7,120時間から5,708時間に大幅に削減されています。

武次郎は、市長、教育長に県、県教育委員会に対して、人件費の増額を強く求めるよう質問しました。

武次郎は、学校現場の慢性的なマンパワー不足の解消が急務と考えています。

## 初めて倉敷市のがん検診率を公表!

倉敷市の受診券を利用しない職場健診・人間ドック等によるがん検診人数を、倉敷市内の検診実施医療機関(17機関)で初めて調査し、公表しました。

下の表は、それぞれの検診種別の対象者に対して、市の検診と市の検診以外での検診者を足して、その割合を出したものです。

肺がん検診のように、職場健診で受診していると思われるものが高くなっています。

平成23年度倉敷市がん検診受診率	
検診種別	受診率
胃がん検診	21.4%
大腸がん検診	25.0%
子宮頸がん検診	17.4%
乳がん視触診検診	18.6%
マンモグラフィ検診	15.6%
肺がん検診	38.5%
前立腺がん検診	13.9%

独自テストについてのご意見をお聞かせください